

五 方 募 法 入 決 定 の	四 發 行 方 法	三 用 振 替 等 法 の 適	二 の 法 律 項 及 び 根 そ 拠	一 發 行 號 名 稱 及 び 記	○ 平 行 成 條 件 二 十 三 等 三 十 年 三 年 次 十 一 月 二 月 七 日 十 五 日 告 示 第 四 百 五 号 利 付 國 庫 財 務 債 券 大 臣 安 住 淳 大 藏
争市る参てをび回と入利振の以律社一法会十財回利 入場も加、し利りい札回替適下へ債項律計四政 札特の者財た回競うへり機用「平、株 發別にご務後り争」。以を関を振替式等の振替 行參よと大に競入に下競争は受けけるも「と 「加るに臣行争札と者發応がわ入發行 い・行募各れ札う第へ限國るの「と う。II以度債入募非下額市札入 価一を場での。格國定特あ決競債め別つ定及利 の法律項及び根拠その規定。」	利付債券大 臣安住淳 昭和四十 年(昭和 四十一年)。	利付債券大 臣安住淳 昭和四十 年(昭和 四十一年)。	利付債券大 臣安住淳 昭和四十 年(昭和 四十一年)。	利付債券大 臣安住淳 昭和四十 年(昭和 四十一年)。	利付債券大 臣安住淳 昭和四十 年(昭和 四十一年)。

七 口イ 括		六 イ 發	
者特國行争利込行争非者特國		行争利行争非者特國行争利	
・別債入回金札り金	札格第参市	札格第参市	札格第参市
II加場發競額	發競II加場	發競額	發競II加場
三百七億四千九十五万円	円四千二百十九億五千八百四十二万	でた条特五額た条特七つ定う額 三利第別万で利第別十いにち面 百付一會円五付一會二て基、金 五国項計百国項計億はづ財額 億債のに二債のに五、き政で 円に規関十に規関千額發法三 つ定す五つ定す六面行第千 いにる億いにる百金し四九 て基法四て基法六額た条百 、づ律千はづ律十で利第九 額き第三、き第五三付一十 面發四百額發四万千國項八 金行十円四債の億 額し六十金し六、百に規円	込募各りい各 み限国当も申 の度債ての込 応額市るかみ 募の場。らの 額範特そ を圃別そ 割内參 りに募 當お加 者ご て回 る。各 の申應 割低

十 三 二	十 一	九 八
	發	
の 経 利	發	振 額 最
払 過	行 行	替 低 行 争 非
込 利	価	額 入 價
み 子 率	格 日	面 札 格
		位 金 発 競

(二)

出に住時額金にの口るに
 しは者にへ額よに座も係發
 た、又おたにりつにのる行
 金前はいだ百算い記と所時
 額記外てし分出て載し得に
 に(一)国取、のしは又て税お
 当の法得当二た、は振がい
 該算人す該十金前記替源て
 非式でる國を額記録口泉、
 居にあ者債乗か(一)さ座徵そ
 住よるがをじらのれ簿収の
 者り場非發た當算る中さ利
 又算合居行金該式ものれ子

$$\frac{\text{額面金額の総額} \times \frac{22}{100} \times \frac{56}{365}}{1}$$

(一)年銭額平す額の振 五
 む十式は 二 面成るの記替 万
 も号に、募・ 金二。整載法 円
 のによ 払入二 額十 数又の
 と規り込決パ 百三 倍は規
 す定算金定一 円年 の記定
 るす出額のセ に十 金録に
 。るしに通ン つ一 額はよ
 期た加知ト き月 に、る
 日金えを 百十五 よ最振
 に額、受 円五 る低替
 払を次け 七日 も額口
 い第のた 十 との面座
 込二算者 九 と金簿

二 十 九	十 十 八	十 七 六	十 五	十 四
払者入払元償償 込札場利還還 期參所金金期 日加支額限子以				後第 の二 利期 子以
平 成 二 十 三 年 十 一 月 十 五 日	財 務 大 臣 か ら 通 知 を 受 け た 者	日額平利てを毎 本面成子、支年 銀金六をそ払三 行額十支の期月 百三払日と二 円年う以し十 に三。前、日 つ月六各及 き二月支び 百十間払九 円日に期月 属に二 すお十 るい日	$\frac{\text{額面金額} \times 2.2}{100 \times 1}$	規下は期た期平 定、が金と成控得は す次そ銀額し二除税外 る号の行を、十すの国 期及翌休支次四る税法 日び営業払の年こ率人 に第業う算三とが つ十日。式月が乗適 い六にたに二でじ用 て号支當だよ十きたを 同に払たしり日る金受 じ。おうる、算を。額け いへと支出支。る て以き払し払を所